

技術資料

ポリシーラー UK

一液性水膨張弾性シール材

1. 概要

ポリシーラーUKは止水を目的として開発された水膨張タイプの一液弾性シール材です。硬化後の物性は優れたゴム弾性と自己吸水膨張により優れた止水性を発揮します。

2. 特長

- ①水に触れると水を吸収し、最大2倍（体積）膨張します。
自己吸水・膨張機能により、優れた止水性を発揮します。
- ②一液湿気硬化型で、作業性に優れています。
コーキングガンは市販のものをお使いください。
- ③硬化後は優れたゴム弾性を有し、耐水性・耐久性が良好です。
ゴム弾性により、長期間良好な止水性を維持します。
- ④湿潤面でも硬化し、接着が可能です。
濡れた面でも容易に硬化接着します。
- ⑤コンクリート、鉄、塩ビ（硬質）等への接着性が良好です。

3. 用途

- ①H鋼まわり、管まわり貫通部の止水。
- ②コンクリート打継部の止水。
- ③コーナー底板部の止水
- ④その他防水

4. 性状

表-1

試験項目	単位	測定値	試験方法	
外 観	—	グレー色ペースト状	目 視	
比 重	—	1.25	JIS A 1439	
押し出し性	(5℃)	秒		14
	(20℃)	秒		4
スランプ(35℃)	mm	0		
タックフリー(20℃)	時間	4		

5. 硬化特性

ポリシーラーUKを被着体（鉄板）の上に10mmの厚さにガン打ちし、温度20℃湿度60%の条件に放置して経過時間による硬化速度を測定。

表-2

放置時間	硬化厚さ	備考
22hrs	1.2mm	硬化厚さは、シーラ材の未硬化部分を取り除いてノギスにて測定
50hrs	2.3mm	
73hrs	3.3mm	
170hrs	8.2mm	

6. 硬化後の物性

表-3

条件	項目	単位	試験結果	試験方法
常態	硬度	タイプ A	22	JIS K 6253
	50%モジュラス	MPa	0.2	JIS K 6251
	引張強さ	MPa	2.6	
	伸び	%	950	
	引裂強度	kN/m	10	JIS K 6252
膨張後	硬度	タイプ A	10	JIS K 6253
	引張強さ	MPa	1.4	JIS K 6251
	伸び	%	500	

硬化養生：20℃×7日

膨張処理：水道水浸漬1ヶ月後

7. 水膨張性

表-4

浸漬水	体積変化率(%)				試験方法
	1日後	2日後	1週間後	2週間後	
水道水	49	69	101	107	試験体形状:20×5×50mm 浸漬水温度:20℃
1%セメント水	48	68	101	110	
3%塩水	41	60	88	97	

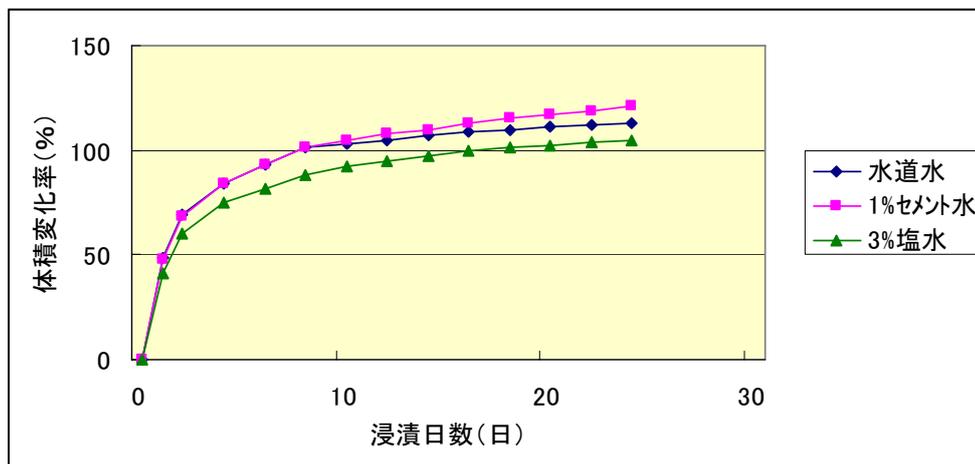


図-1 浸漬日数-体積変化率グラフ

8. 耐水圧試験

<試験方法>

上部フランジの表面を溶剤にて清浄にし、ポリシーラーUKを断面形状が幅20mm、厚さ10mmになるように円形に成形する。これを温度20℃、湿度60%の恒温室に2週間放置して硬化養生を行う。

養生終了後、上部フランジを溝形状が幅22mm、深さ11mmの下部フランジと組み合わせ、溝とシール材に隙間ができるように(図-2参照)、目開き量を1mmに設定する。初期(膨張前)の状態耐水圧試験治具の中に水を注入し、水圧を加えなくても漏水することを確認する。

次に耐水圧試験治具を水の中に浸漬し、一定時間経過後耐水圧試験を行う。

水圧ポンプにて水圧を0.1MPaずつ順次上昇させる(但し、水圧保持時間は3分間とする)。

漏水が発生した時点で加圧を中止する。

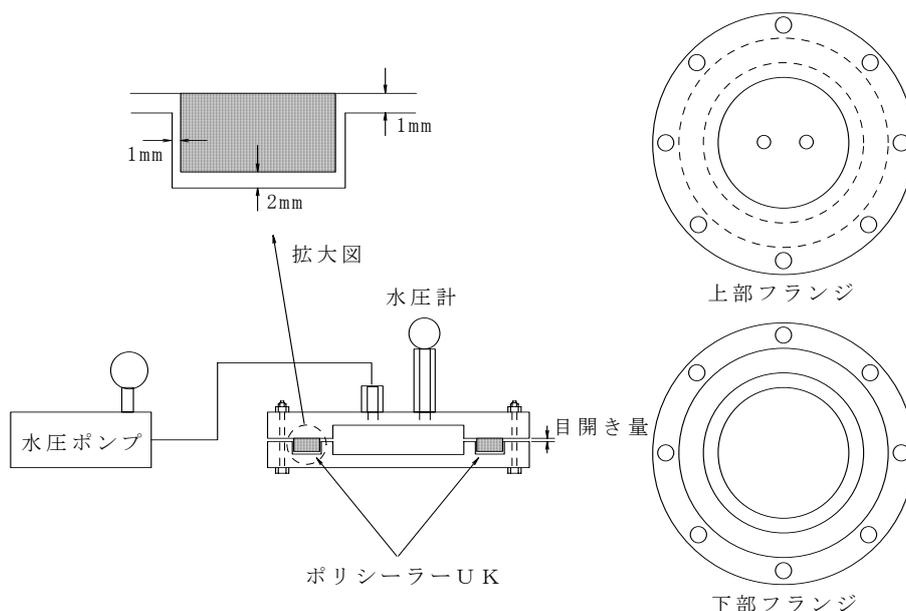


図-2 耐水圧試験治具

<試験結果>

表-5

水圧(MPa)	膨張前	浸漬2日後	浸漬3日後
0.1	漏水	漏水無し	漏水無し
0.2		漏水	漏水無し
0.3			漏水無し
0.4			漏水無し
0.5			漏水無し

9. 使用方法

- ①被着材面の清掃を行い、泥、油、ホコリ等を取り除きます。
- ②ノズルの先端を形成する大きさに合わせて切り取り、ノズル内側の膜を破ってから使用してください。
- ③施工箇所に切れ目ができないよう、均一にガン打ちしてください。

10. 取り扱い上の注意

- ①人体に害があるので、吸引したり飲まないでください。
- ②使用する際には、適切な保護具（マスク、眼鏡、手袋、衣服）を着用し、通気のよい屋外か局所排気装置のある場所で使用してください。
- ③万一飲み込んだ場合は無理に吐かせずに、すぐに口の中を洗い、医師の診察を受けてください。
- ④目に入ったときは清水で15分以上洗い、医療処置を受けてください。
- ⑤皮ふに触れたときは布等で拭き取りせっけんで洗ってください。
- ⑥人体に異常のあった場合には使用をやめ医師の診察を受けてください。
- ⑦可燃物なので、火気の付近で使用しないでください。
- ⑧幼児、子供の手の届かない所で使用、保管してください。
- ⑨有害成分を含むので、上水用、給湯用の配管には使用しないでください。
- ⑩使い方や用途が適切かどうか十分確認のうえ使用してください。
- ⑪雨の日の屋外、多湿箇所での施工は避けてください。
- ⑫水膨張タイプのため、外面塗布等はしないでください。
- ⑬材質によっては製品を使用すると変質する恐れがあります。あらかじめ使用箇所への影響を確認し、問題がある場合には使用しないでください。
- ⑭本表示に記載されていない危険有害性につきましては製品安全データシート（MSDS）をお読みください。

11. 保管方法

密栓し、直射日光の当たる所、高温になる所、水のかかりやすい所、湿気が多い所をさけて保管してください。

12. 廃棄方法

産業廃棄物として産業廃棄物処理認定業者に委託して処理をしてください。

13. 法規制

消防法 指定可燃物 可燃性固体類

14. 注意

工業用

（家庭用には使用しないでください）

本商品は一般工業用途向けに開発されたものです。商品のご使用に際しては、以下の点をご承諾ください。

- 本書に記載している技術データは、当社規定の試験方法による実測値の一例であり、保証値ではありません。また、本書で紹介している用途は、いかなる知的財産権にも抵触しないことを保証するものではありません。
- ご使用に際しては、当該用途に使用することの妥当性・安全性について必ず事前確認いただき、それに伴う全ての責任と危険をご負担ください。
なお、体内への埋込・注入又は残留する恐れのある医療用インプラント用途には絶対に使用しないでください。
- 商品の誤った取扱いによる傷害及び損害については、当社では責任を負いかねます。
ご使用になる商品の性質・使用方法が不明な場合は、絶対に使用しないでください。
- 商品の安全情報詳細については、製品安全データシート(MSDS)をご確認ください。
MSDSの入手方法につきましては、当社担当事業所にお問い合わせください。
- 本書の記載内容は、当社独自の判断で変更する場合があります。